

月刊 工連ニュース

OKINAWA
INDUSTRIAL FEDERATION NEWS



毎年7月は「県産品奨励月間」・10月は「沖縄の産業まつり」です。

毎々格別のち引きに預かり
有難く厚く御礼申しあげます
平成二十八年元旦
平成二十八年元旦



かわ
め、春

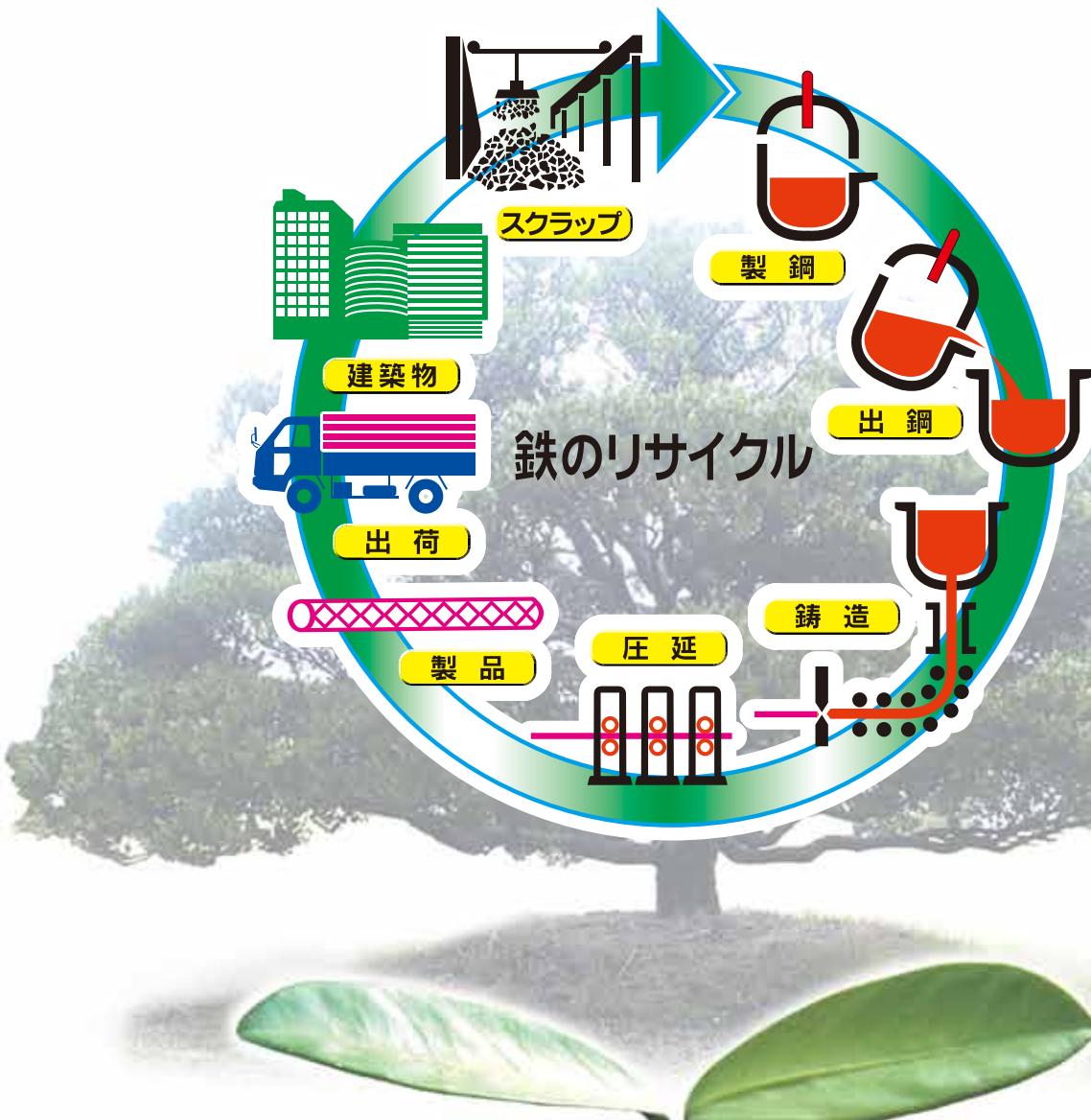
- 平成27年度 工連・JIS協会合同忘年会
- 「元気カンパニー」(株)オキネシア
- 「新うちな～むん紹介」(株)赤マルソウ
- 県外・海外販路拡大支援事業及び
国際物流拠点産業集積地域に関する説明会

1 2016
月号

Vol.614

うまんちゅのチカラ。

資源には限りがあります。鉄も大事なリサイクル資源です。
鉄のリサイクルを始めて半世紀、これからも
沖縄経済の発展に寄与するとの使命感と、
ゼロエミッショソ社会の実現のため邁進してまいります。



拓南製鐵株式会社
<http://www.takunan.co.jp>

本社: 沖縄県那覇市壺川3丁目2番地4(拓南ビル3F)
TEL098-832-0588 FAX098-832-0586
新中城工場: 沖縄県沖縄市海邦町3番26
TEL098-934-6822 FAX098-934-6833
石灰工場: 沖縄県名護市字安和西部間2656-2
TEL0980-53-8018 FAX0980-53-8067

月刊 工連ニュース 1月号 2016 Vol.614

- 2p > 新年のご挨拶
- 3p > 公益社団法人沖縄県工業連合会役員名簿
- 4~5p > キラリ! 元気カンパニー「沖縄の未来を照らす企業」
香りで沖縄文化広める「琉球フレグランス」
株式会社オキネシア
- 6~7p > 平成27年度 工連・JIS協会合同忘年会
- 8~11p > 年賀広告
- 12p > ちばりよ~県産品
思い切ったリニューアルが業績向上のきっかけに
株式会社赤マルソウ
- 13p > 沖縄県工業連合会 技術開発部会
沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センターの
概要及び機器等の説明・見学
(公社)沖縄県工業連合会
- 14p > 「学校と産業界の交流事業」活動報告
(公社)沖縄県工業連合会
- 15p > 国際物流拠点産業集積地域及び
県外・海外展開支援メニューに関する説明会
(公社)沖縄県工業連合会
- 16p > 故サムエル・C・オグレスビー氏第49回追悼式
(公社)沖縄県工業連合会

- 17p > 平成27年度オグレスビー氏奨学金交付式
(公社)沖縄県工業連合会
- 18p > 第6回「ものづくり日本大賞」
沖縄県から特別賞および優秀賞受賞者が決定!
経済産業省
- 19p > 第32回 未来の科学の夢絵画展表彰式
(一社)沖縄県発明協会
- 20p > 琉球大学工学部後援会からのお知らせ
工学部後援会主催
キャリア形成支援セミナー開催報告
- 21p > 沖縄職業能力開発大学校
海洋ロボットコンペティションin沖縄
- 22p > 沖縄高専だより
県民公開講座「現代に生きる古の心」案内
- 23p > 工業技術センターだより
試験研究・検査設備機器の紹介
- 24p > トピックス
沖工連青年部会員募集
会員募集のご案内
会員の皆様へ

2015年12月 工連日誌

- 2日(水)
 ●時間／10:30~11:30 ●場所／ホテルロイヤルオリオン
 沖縄ものづくり振興センターについての説明会
 ●時間／11:30~12:00 ●場所／ホテルロイヤルオリオン
 第2回組織強化委員会
 ●時間／12:00~13:30 ●場所／ホテルロイヤルオリオン
- 10日(木)
 工連・JIS協会合同忘年会
 ●時間／18:00~20:00
 ●場所／ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー

- 14日(月)
 平成27年度技術開発部会
 ●時間／14:00~16:00
 ●場所／沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター
- 18日(金)
 オグレスビー氏 第49回追悼式
 ●時間／11:00~11:30 ●場所／泊外人墓地

 県外・海外販路拡大支援事業及び
国際物流拠点集積地域に関する説明会
 ●時間／15:00~16:30 ●場所／沖縄産業支援センター

特許等取得活用支援事業

知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

ワンストップサービス

- 知財専門家が窓口に常駐
- 知財専門家を派遣
- 知財ニーズの発掘
- 知財に関する支援策の紹介
- インターネット出願を支援

秘密厳守

相談無料

個別対応のため予約が必要です



0570-082100 (有料)

窓口運営時間…8:30~17:15 (月~金) ※窓口支援担当者が常駐しています。

※電話、インターネットでお申込ください。

※ご相談頂いた内容は守秘義務により保護されます。

■内閣府沖縄総合事務局委託事業 /

実施：一般社団法人沖縄県発明協会

098-921-2666

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。

●工連ニュースへのご意見ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。
E-mail／info@okikouren.or.jp ホームページ／http://www.okikouren.or.jp

発行所／公益社団法人 沖縄県工業連合会
那覇市字小禄1831-1沖縄産業支援センター6F
電話(098)859-6191 FAX(098)859-6193
編集・印刷／有限会社サン印刷 電話(098)889-3679

2016年 新年のご挨拶

公益社団法人
沖縄県工業連合会会長
呉屋守章

新年明けましておめでとうござい
ます。二〇一六年の新春にあたり謹んで
ご挨拶を申し上げます。平素は、当
会の事業運営にご支援を賜り深く感
謝を申し上げます。

私は昨年六月の定時総会において、
工連会長に就任いたしました。就任後
初めての新年を迎え、今後の工連のか
じ取りを担う者として、あらためて身
が引き締まる思いです。

建設分野では、那覇空港滑走路増設事
業やモノレール延長事業などの大型
プロジェクトの本格的な始動があり、
観光分野では、大型商業施設のオープ
ン、観光客のインバウンドの増加、航
空機便数及び寄港クルーズ船の増加
などがあり、建設、観光の両産業が牽
引役となつて県全体の経済を押し上
げてきました。

とりわけ、大型建設工事は建設資材
メーカーが多い本県製造業と強く関
わるため、本会は昨年七月、モノレー
ル延長工事を担当する沖縄県土木建
築部に対し、県内企業の優先発注及び
県産資材の優先使用の要請を行いま
した。那覇空港滑走路増設事業につ
いても、一昨年、沖縄担当大臣、自民党県
連、沖縄総合事務局に対し、同様の要
請を行つてきました。

好調な経済の一方で、人手不足の問
題が顕在化しております。本会が昨年
八月に会員を対象に実施したアンケ
ート結果では、回答企業の約三十九%

が人手不足の影響で業務に支障が出
ているとしています。こうした人手不
足を解決するためには、官民双方での
雇用対策を進めることも重要ですが、
企業自身が雇用条件や環境の改善に
取り組む必要性を問われていると感
じています。

さて、本会の昨年事業は「県産品奨
励事業」、「沖縄の産業まつり」を柱と
した各種事業を実施しました。沖縄の
産業まつりでは、目玉として沖縄高専
の卒業生が起業し製作したロボット、
「スケルトニクス」のデモンストレー
ションを行いました。このデモンスト
レーションは、参觀者から大きな反響
があり、子供たちにも「ものづくり」の
楽しさや素晴らしさを伝える良い機
会になつたと思います。初日はあいに
くの雨でしたが、後の両日は打つて変
わつて良い天気になり、最終的には約

二十三万人の来場者がありました。会
員企業、出展者、協力業者など関係各
位のご協力に対しあらためてお礼を
申し上げます。

平成二十八年 年初



の皆様、並びに関係者各位にとりまし
て、実り多き年となりますよう祈念
し、新年のご挨拶といたします。

た産業構造の構築を目指しています。
昨年の本県経済を振り返りますと、

謹賀新年

公益社団法人 沖縄県工業連合会

会長	吳屋 守章	金秀アルミ工業(株)副会長	理事	比嘉 昌治	(株)沖縄ホーメル社長
副会長	新垣 昌光	オリオンビール(株)副社長	"	大江 聖彌	琉球ガラス工芸協業組合代表理事
"	仲田 龍男	オキコ(株)社長	"	高橋 俊夫	沖縄コカ・コーラボトリング(株)社長
"	古波津 昇	拓南製鐵(株)社長	"	島袋 正也	(株)久米島の久米仙社長
"	伊仲 剛	琉球セメント(株)専務	"	吉長 盛信	沖縄ガルバ(株)社長
"	座間味 勲	(株)ざまみダンボール社長	"	津波古 義秀	(株)技建社長
"	島袋 清人	沖縄電力(株)副社長	"	仲本 幸平	沖縄テクノクリート(株)専務
専務理事	桑江 修	(公社)沖縄県工業連合会専務理事	"	比嘉 希	大和コンクリート工業(株)専務
理事	佐久眞 章	沖縄プラント工業(株)会長	"	佐久本 学	瑞泉酒造(株)社長
"	與那覇 正俊	丸正印刷(株)会長	"	宮城 幹夫	金秀バイオ(株)社長
"	前里 健一	(株)まえさと社長	"	長野 真知	(株)沖縄ポッカコーポレーション社長
"	長濱 徳勝	沖縄ハム総合食品(株)社長	"	仲松 政治	(株)石川酒造場社長
"	外間 政春	光文堂コミュニケーションズ(株)社長	"	湧川 直明	沖縄ガス(株)常務
"	新城 博	(株)トリム会長	"	玉那覇美佐子	沖縄県酒造組合会長
"	澤嶽 カズ子	(株)御菓子御殿会長	"	川満 彦三	金秀鉄工(株)社長
"	眞志喜 実	沖縄鋳鉄工業(株)社長	"	平良 辰二	(株)沖縄環境保全研究所社長
"	大城 勤	忠孝酒造(株)社長	"	玉寄 将	(株)開邦工業社長
"	仲本 勝男	(株)仲善会長	"	大城 英幸	(株)日進商会社長
"	下地 清吉	(有)沖縄長生薬草本社社長	"	高安 正勝	(株)ぬちまーす社長
"	屋嘉比 康則	昭和製紙(株)社長	"	津嘉山 貞雄	(株)日進ホールディングス社長
"	大坪 憲治	沖縄県衣類縫製品工業組合理事長	"	仲里 伸二郎	沖縄県工業連合会青年部部会長
"	竹内 一郎	沖縄製粉(株)社長	監事	仲村 朝男	(株)名護鉄工所社長
"	山城 宝	沖縄明治乳業(株)社長	"	岸本 力	沖水化成(株)社長



思わず手にとりたくなる個性豊かなパッケージデザインの商品ラインナップ。

県内外での物産展でも、一目置かれる存在です。



**キラリ!
元気
カンパニー**
沖縄の未来を
照らす企業

香りで沖縄文化広める 「琉球フレグランス」

株式会社 オキネシア

ファブレスだからこそできる 柔軟な商品開発・PR

株式会社オキネシアの創立は1996年。今年で20年目の節目を迎えます。工場を持たずに製造業としての事業を行う「ファブレス」という業態であり、固定されたカテゴリにどどまりず、食品、化粧品、雑貨など幅広いジャンルのプライベートブランド商品を開発しています。

ファブレス企業は任天堂やセガ、伊藤園など国内にも多数存在しますが、沖縄においては珍しく、創業時には周囲からの懸念もあったとされます。創業者であり社の代表を務める金城幸隆氏は「ファブレスだからこそできる」と重視してきましたといいます。

「以前お世話になっていた会社で、ファブレスで開発を手がけた『ちよちゅね』という黒糖菓子がロングセラーになり、地元メーカーとのコラボによるモノ作りに大きな可能性を感じた。同時に、品質・デザイン・パッケージ・ネーミングなど、独自の切り口にこだわった個性的な地場産品開発への手応えをつかみ、ファブレスでオリジナル商品の創作フィールドを広げられると考えた」その言葉どおり、オキネシアは創業以来、他社と二線を画したユニークで多様な商品を次々と生み出してきました。共通する」だわりは、沖縄県産素材を使用すること、また、ネーミングも沖縄とリンクするものと採用する」と。または沖縄を連想させる

キヤッチフレーズを添える」と、「piripau」と「ナンチチ」、「ぞわわ」といった菓子はその独特的ネーミングが関心を引き、話題となっています。

「商品開発では名前やパッケージ素材やデザインなど、一般的な常識にあまりとらわれないようにしている。当社はファブレスなのでメーカーとユーザーの間に立つ。製造の素人ゆえの発想や冒險を大切にしつつ、消費者目線も忘れずにいたい。作り手と使い手の両方が満足できるモノ作りが理想」と、独自の感性を重視しています。

2000年からは「おきなわの香り」を新しいテーマに据え、沖縄県工業技術センターの協力を得て、月桃の葉の粉末を練りこんだ「月桃香／ハーブ」、月桃と柑橘のワッセンシャルオイルをベースにした「琉球香／1429」の2種のお香を開発。さらに、沖縄県産品としては初となるカーブチーの香水「コータキー(つたき)」を発表し県内外で話題を呼びました。

世界共通のコンテンツ「香り」を 新しい沖縄カルチャーへ

精油の抽出・分析をはじめフランスでの調香や資材調達など、構想から約5年という時間をかけて完成したオードパルファン「UTAKI」は、カーブチー由来の天然素材を使用した本格的な香水ということでお評判を得、今年は容量の小さいリューカル版の販売を予定しているといいます。



株式会社オキネシア
代表取締役 金城幸隆

生食用の青果として扱われてきたカーブチーを同社は苦味・渋味を抑え、独特的のコクと深みのある柑橘ジュースの開発も手がけています。



そして「JUTAKU」のヒットを受けて2015年に発表された新商品が同じくカーブチーの香りをベースにしたオーデコロン「JURU(うる)」です。フレッシュ・シトラスの「うる・レッド」の3種のラインナップをそろえ、容量も15ml・50mlの2パターンがあり、ギフトとしても購入しやすいようパッケージにも工夫が凝らされています。前作は1アイテムのみ。今回のコローンは全部で6アイテム。香りの種類やサイズが増え、選ぶ楽しさ、贈る喜びが違う」と金城氏は自信を覗かせます。

「JUTAKUはメイドインフランスだったが昨年、化粧品製造・販売の免許を取得し、すべて自社生産できるようになった。沖縄生まれの香水として堂々と県外、国外へ発送できる」とし、メイドインオキナワの香水としてグローバルな展開を目指しています。

「香りの魅力が人を引きつけるのは世界共通。欧洲では昔から香りが文化として親しまれており、日本でもアロマオイルやお香などを生活の中に取り入れ楽しむようになった。沖縄は多様な芳香素材に恵まれた。沖縄はフレグランスを生かしたライフスタイルも提案できるし、末永く文化として継承できる素地がある」とし、新しい沖縄発の香り文化の誕生に期待を寄せていました。

そして「JUTAKU」のヒットを受けて2015年に発表された新商品が同じくカーブチーの香りをベースにしたオーデコロン「JURU(うる)」です。フレッシュ・シトラスの「うる・レッド」の3種のラインナップをそろえ、容量も15ml・50mlの2パターンがあり、ギフトとしても購入しやすいようパッケージにも工夫が凝らされています。前作は1アイテムのみ。今回のコローンは全部で6アイテム。香りの種類やサイズが増え、選ぶ楽しさ、贈る喜びが違う」と金城氏は自信を覗かせます。

「JUTAKUはメイドインフランスだったが



株式会社オキネシア

業種 製造卸売業
設立 平成8年6月
代表者 代表取締役 金城幸隆
住所・連絡先 那覇市首里金城町4-71-12
TEL.098-882-2577・FAX.098-882-2578
オフィシャルサイト <http://www.okinesia.com/>
サイト <http://ryukyufragrance.jp>



精油 100% アロマオイル「星涼み」。北里大学薬学部との共同研究により、カーブチーの鎮静効果や睡眠導入効果などの薬理作用が明らかになり論文として発表されました。



沖縄原産の在来種カーブチー。厚い果皮を持ち、味は酸味が弱く、ごつごつした見た目からは想像しにくい程よい甘味をもっています。また、他のカンキツとは違ったカーブチー特有の爽やかな芳香も特徴の一つです。現在オキネシアでは本部町の生産農家と連携してカーブチーによる地域活性化に取り組んでいます。

今までの20年の実績と経験を活かし、今後はファブレス企業の枠を越えて自社ブランドの確立をテーマに進化を見せたいと金城社長は20年目の抱負を語っていました。

カテゴリー化し、琉球フレグランス全体の情報発信力とブランド力を高めてゆくことを目標に掲げています。

光客は沖縄の旅の思い出を蘇らせ、本土や海外に住むウチナーンチユは古里を懐かしむような、時空を越えて沖縄とつながるイメージを大事にしたい」と話します。

その功績と商品力の高さが認められ、昨年の沖縄県商工会連合会主催特産品コンテストにおいて、「うる・グリーン」が非食

品の部で最優秀賞(沖縄県知事賞)を受賞。



平成27年度 工連・JIS協会合同忘年会

12月10日(木)那覇市のANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービューにて、沖縄県工業連合会と沖縄県JIS協会による合同忘年会が開催されました。

会員同士はもちろん、各関連団体・企業間での親睦を深めることを目的に毎年開催されているものであり、本年度も師走の慌ただしい時期にも関わらず、多くの会員や関連企業、国、県の関係者が足を運び、たいへん盛況となりました。

沖縄県工業連合会の呉屋守章会長、沖縄県JIS協会・古波津会長が主催者としてそれぞれあいさつし、10月に開催された産業まつりの報告や県産業を取り巻く環境について述べると同時に、一年間の会員の労をねぎらいました。産業まつりにおいて天気予報に毎日一喜一憂していたという呉屋会長の話に笑いが起こるなど、会は終始和やかな雰囲気で、一年の締めくくりとしてふさわしい時間となりました。

来賓も多く訪れ、琉球大学大城肇学長が代表して乾杯のあいさつを務めました。国や県からの表彰を受けた個人・企業への花束贈呈、会員企業が寄贈した豪華な景品に会場は大いに盛り上がりました。本年度も多くの個人・企業が様々な分野で功績を挙げ、その実績と貢献度が評価された結果であり、呉屋会長から花束が手渡されると、会場全体が祝福の拍手に包まれました。

本年度は景品抽選会を行う代わりに会場入口にて引換券が配布されており、例年以上に歓談の時間が充実していたことから、意見交換や名刺のやりとりなども多く見られ、会員同士の親睦も深まったようでした。沖縄県工業連合会、沖縄県JIS協会両団体にとって、一年間を振り返るとともに、次年度の大きな飛躍を目指すための一歩となりました。

平成27年度 各種表彰受賞者

	受賞名	受賞者	会社名及び役職	主催
個人表彰	旭日小綬章(労働行政・社会福祉功労)	呉屋秀信	(公社)沖縄県工業連合会 顧問	内閣府
	旭日小綬章(酒類業振興功労)	佐久本武	沖縄県酒造組合 元会長	内閣府
	平成27年度産業廃棄物関係事業功労者表彰	安里成一	(一社)沖縄県産業廃棄物協会 会長	環境省
	第6回ものづくり日本大賞 製品・技術開発部門 特別賞	新川直正	(株)マリンコムズ琉球 社長	経済産業省
	第6回ものづくり日本大賞 製品・技術開発部門 優秀賞	東郷清龍	(株)石垣の塩 社長	経済産業省
	功績賞	大城正治	リウコン(株) 社長	沖縄労働局
	感謝状	下地清吉	(有)沖縄長生薬草本社 社長	琉球大学同総会
	平成27年度沖縄県優秀技能者賞	大城徹夫	ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 和食担当	沖縄県
企業表彰	受賞名	受賞者	会社名及び役職	主催
	クリスタルアワード コンセプト部門賞	東郷清龍	(株)石垣の塩 社長	SPA WELLNESS JAPAN 2015
	琉球新報活動賞	古波津昇	拓南商事(株) 社長	琉球新報社
	平成27年度沖縄県統計功績者表彰	大嶺克成	(株)沖電工 社長	厚生労働省
	日本赤十字社沖縄県支部長感謝状 沖縄県赤十字血液センター所長感謝状	本社、八重山営業所 北部営業所	(株)沖電工	日本赤十字沖縄県支部 沖縄県赤十字血液センター



(公社)沖縄県工業連合会
吳屋 守章 会長



沖縄県JIS協会
古波津昇 会長



(公社)沖縄県工業連合会
新垣 昌光 副会長



国立大学法人 琉球大学
大城 肇 学長



平成27年度 沖工連・JIS協会 合同忘年会

景品寄贈企業

合同忘年会を開催するにあたり、下記企業各社に商品などの寄贈を賜りました。誠に有り難う御座いました。

(株)サン食品
(株)沖縄コンクリート
沖縄明治乳業(株)
(資)沖縄闘牛原石材
久米島海洋深層水開発(株)
(株)オカノ
フォーモストブルーシール(株)
(株)石川酒造場
(株)名護鉄工所
琉球セメント(株)
拓南製鐵(株)
沖縄ガス(株)
(株)ざまみダンボール
(株)技建
(株)御菴子御殿
(株)沖縄銀行
(株)日進商会
沖縄都ホテル
沖縄テクノクリート(株)
金秀鉄工(株)
瑞穂酒造(株)
オキコ(株)
沖縄ツーリスト(株)
(株)JAL JTAセールス
沖縄製粉(株)

沖電水工事(株)
金秀バイオ(株)
ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー
(株)沖電工
拓南伸線(株)
(株)沖縄県物産公社
オリオンビール(株)
琉球ガラス工芸協業組合
(株)マンゴープラス
(有)モダン広告
全日本空輸(株)沖縄支店
久米仙酒造(株)
(有)祐食品
光文堂コミュニケーションズ(株)
(株)金秀本社
沖縄ガルバ(株)
東洋コンクリート(株)
(株)トミコン
(有)沖縄長生薬草本社
(株)沖縄ホーメル
沖縄県酒造協同組合
沖縄タイムス社
(株)シュアナチュラル
(株)あざみ屋
(株)青い海

(株)EM研究機構
リウコン(株)
(株)琉球銀行
沖縄三協立山アルミ(株)
(株)まえさと
(株)スカイ企画
ホテル日航那覇グランドキャッスル
沖縄ハム総合食品(株)
沖縄県酒造組合
琉球新報社
大同火災海上保険(株)
沖縄電力(株)
沖縄テレビ放送(株)
(株)アドスタッフ博報堂
石垣焼窯元
(株)久米島の久米仙
丸正印刷(株)
総合紙器(株)
まさひろ酒造(株)
(株)ホテルロイヤルオリオン
協和工業(株)
沖水化成(株)
(株)石垣の塩
金秀鋼材(株)





平成二十八年元旦

輝く、新春を迎える
皆様のご清福をお祈り申します
本年も何卒よろしくお願いいたします

Orion

オリオンビール株式会社
代表取締役社長 嘉手苅 義男

〒901-2551
沖縄県浦添市字城間1985番地の1

代表 (098)877-1133 <http://www.orionbeer.co.jp/>

加賀
春



沖縄の海水塩 「青い海」
シママース本舗
株式会社 青い海
TEL 098-992-1140
FAX 098-994-8464
<http://www.aoiumi.co.jp>



信頼で創るより良い環境

OKIDENSO 電気設備工事・電気通信工事・消防施設工事 施工
沖電水工事株式会社

代表取締役 小波津 聰

本社 〒900-0016 那覇市前島2丁目1番10号 TEL(098)867-6311(代) FAX(098)868-3282
西原営業所 〒903-0117 西原町翁長240-1 TEL(098)945-4742 FAX(098)945-4728



ビニールパイプ
ポリエチレンパイプ 製造販売

県産品を愛用しましょう。

沖水化成株式会社

代表取締役 岸本 力

本社 〒904-2162 沖縄市海邦町3-14
TEL.(098)982-1371 FAX.(098)921-2336



ダンボール・パッケージの
総合紙器
(098)992-1111

- オキポール ●沖縄ハイポール ●照明・防球ネット用ポール
- 防災無線・携帯電話アンテナ用ポール ●ポール建柱工事施工一式
- 都市景観美化用コンクリート製品全般 ●PHC・CPRCパイプ
- 高支持力杭工法及び各種杭打工法の施工 ●C.C.BOX(電線共同溝)
- その他地中化製品 ●テールアルメ工法(補強土壁工法)
- プレキャスト製品の設計・製造販売・施工

コンクリートテクノロジーの未来をみつめて
沖縄テクノクリート株式会社

代表取締役社長 伸本 幸文

本社／〒900-0003 沖縄県那覇市字安謝620番地 TEL.(098)868-2522
海邦工場／〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3番地1 TEL.(098)934-5512

アルミサッシ・システムキッチン・リビング建材
 **大里総合建材株式会社**
代表取締役 新垣 清一
南城市大里字稀嶺1981番地 ☎(098)945-5604



大切にします。沖縄の味！
沖縄製粉株式会社

代表取締役会長 竹内 聰
代表取締役社長 竹内 一郎

〒900-0035 沖縄県那覇市通堂町1番1号
TEL (098) 868-3141 FAX (098) 868-8279
<http://www.okifun.com>

meiji
明治グループ
県民の健康と生活文化の創造に貢献する
沖縄明治乳業株式会社

〒901-2502 沖縄県浦添市牧港1-65-1 TEL(098)877-5274

卓越した味わいを皆様の食卓へ。



株式会社 沖縄ホーメル

代表取締役社長 比嘉 昌治

マンホール鉄蓋で郷土の環境作りに奉仕する
沖縄鋳鉄工業株式会社

沖縄県リサイクル資材評価認定
マンホール鉄蓋 第17-1号 再生プラスチック第11-2号



代表取締役
眞志喜 実

西原町字小那覇958番地
TEL(098)945-5453 FAX(098)945-5924

お菓子で幸せを届けたい



<http://www.fashioncandy.co.jp/>

謹賀新年



"県産品"トイレブース【耐水仕様】・アルミパーティションメーカー



沖縄三和シヤッター株式会社

代表取締役社長 尾上 裕昭

〒901-0212 豊見城市字平良 84-1

本社 TEL.(098)840-5538 沖縄北営業所 TEL.(098)965-5538

製造部 TEL.(098)965-5151 石垣営業所 TEL.(0980)83-3838

<http://www.okinawa-sanwa.co.jp/>

きもち、つつみ、つながる。
KAKAZ
株式会社 嘉数グラビヤ

糸満市西崎町 5-3-6 西崎工業団地内

☎ 098-992-4011 FAX 098-994-2294

HP:<http://kakaz.info/>



ユニフォームの総合販売

企業ユニフォーム及びかりゆしウェア製造販売
官公庁制服・学生服・製造販売



株式会社 日進商会

〒901-0306 沖縄県糸満市西崎町4丁目21-7
TEL(098)840-3033 FAX(098)840-3010

MAJUN.



県内100社で構成された沖縄県唯一の
プレストレストコンクリート構造物メーカー

ISO 9001:2008
ISO 14001:2004
認証 取得

沖縄ピーシー(株)

〒900-0029 沖縄県那覇市旭町112番地1(金秀ビル西館2階)
本社/TEL(098)868-3050 FAX(098)868-3051





ちばりよ~県産品

株式会社赤マルソウ

●糸満市西崎町4丁目10番地2
TEL 098-992-0011・FAX 098-992-0033
<http://www.akamarusou.co.jp/>



思い切つたり一ユーハルが 業績向上のきっかけに

昭和25年の創業以来、味噌、醤油をはじめとする調味料の製造により沖縄の味を支えてきた株式会社赤マルソウ。創業65年の老舗でありますながら、現在の社員は平均年齢36歳と若く、柔軟な発想で次々と新商品を開発しています。

その一つが沖縄県産素材にこだわった「島一番シリーズ」です。シーカワーサー、島とうがらし、タンカンなど素材の味や風味を活かした独自の製法で作るドレッシングであり、沖縄県優良県産品に推奨されるなど数々の賞を受賞しています。

徐々に種類を増やし、現在は主力商品のひとつにまで成長したシリーズですが、その前身はタンカン、シーカワーサー、ハバネロ、紅芋の4種を主にした「Panaシリーズ」。洗練されたパッケージと上品な味わいで話題となりました。しかし、あえて大幅リニューアルに踏み切った理由を開発担当の富村盛克さんはこのように話します。

「失敗を恐れず、アイディアをかたちにするため工夫を重ねることで、お客様に喜んでいただければそれが一番の幸せです」と富村さんは笑顔を見せていました。

「デザイン性の高いパッケージからドレッシングではなく基礎化粧品と勘違いされ、価格も高めに設定していましたこともあって、思っていたより売り上げが伸びませんでした。容量を調節して手に取りやすい価格に変更し、ネーミングやデザインもあたたかみのあるものを取り入れて、沖縄県産品であることを前面に出すことでの大幅な売り上げアップを実現させることができました」

株式会社ぬちまーすなど他企業とのコラボ商品や新しい素材の発掘など、日々挑戦を積み重ねているという赤マルソウ開発チーム。シリーズのラインナップは11種類にまで増え、現在も新商品の開発を進めているところだといいます。



温かみのあるラベルデザインに変更したことでの売上げにも大きく変化がうまれた商品群。



創業当時から残る案内表示には歴史を感じさせます。



ご案内いただいた
株式会社赤マルソウ
製造部 富村盛克さん

平成27年度 (公社)沖縄県工業連合会 技術開発部会

沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センターの概要及び機器等の説明・見学

平成27年12月14日(月)



沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センターの見学では同施設の概要についてパネルなどの展示物を前に説明があり、参加者も熱心に聞き入っていました。



沖縄健康バイオテクノロジー
研究開発センター センター長
渡嘉敷唯章氏

最新機器に関する知識を深め、活用と地域企業・研究センターとの連携を図るための見学会及び情報・意見交換会が行われました。

昨年までは沖縄県工業技術センターが見学先となっていましたが、今年ははじめて、うるま市の沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センターが対象施設となりました。

うるま市州崎地区は全国でも特にバイオ関連企業の進んでいる地域であり、沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センターにも多くのバイオ関連の研究機関・企業が集積しています。

沖縄県におけるバイオベンチャー企業の集積率は全国3位(人口100万人あたり)と今後発展の可能性が高い産業といえ、県としてもバイオ関連産業をとくに重要な産業と位置づけています。バイオ関連産業等のさらなる活性化促進のため、起業支援、ポストインキュベーション機能を持つた施設として設置されたのが沖縄バイオ産業振興センターであり、県内各種支援機関等と連携し、充実したバックアップ体制を取っています。

その施設と最新機器を見学できるとあって、当口は県内各企業から多くの参加者が足を運び、沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター渡嘉敷唯章センター長の案内で施設内を見学しました。加工食品製造に用いられる粉碎機や梶田隆章東京大学教授が昨年ノーベル物理学賞を受賞した

ことで話題に上った質量分析器は参加した面々の関心を多いに引いたようでした。

施設の管理を行つ一般社団法人トロピカルテクノプラスの岩本竜吾代表は「センターでは数千万円を越える高価な機器を安価で利用可能であり、事務や製品の特徴によって様々な使い方ができる。県バイオ産業発展のためにも広く利用してもらいたい」と話し、施設の有効活用をアピール。見学後に行われた情報・意見交換会では、施設の利用条件や機器の特性についてなど多数の質問が投げかけられ、今後の展開が期待できる会となりました。



公益社団法人沖縄県工業連合会

「学校と産業界の交流事業」活動報告!

沖縄県工業連合会では平成17年度より、会員の企業経営者や技術者等を教育現場に派遣して産業講話を行う「学校と産業界の交流事業」を行っています。食品、リサイクル、鉄鋼・金属、エネルギー、窯業、縫製、関節装具、琉球ガラス、LED通信機器、弁理士等の事業を営む15社から社長や役員、技術者等が講師登録しています。これまでの11年間で小中学校、高校、大学、高専、職業訓練校など累計122校で延べ16,655名の児童生徒・学生・保護者・先生を対象に講話をを行い「ものづくりの楽しさ、働くことの大切さ」を伝えています。

年度別実績

●平成17年度	4校 190名	●平成18年度	8校 1,000名	●平成19年度	21校 3,971名
●平成20年度	14校 2,068名	●平成21年度	19校 2,505名	●平成22年度	4校 353名
●平成23年度	5校 941名	●平成24年度	8校 1,219名	・県工業教育研究会100名	
●平成25年度	19校 2,303名	・県工業教育研究会100名			
●平成26年度	7校 415名	・県工業教育研究会90名	・県高等学校家庭科教育研究会100名		
●平成27年度	8校 1,210名	・県工業教育研究会90名			

今年度もこれまでに小学校4校、中学校3校、高等学校1校等で産業講話を行いました。下記に活動実績を報告します。

実施日	学校・組織名	講師(敬称略)		
5月15日(金)	沖縄県工業教育研究会	忠孝酒造(株)	社長	大城勤
6月21日(日)	うるま市立勝連小学校	福島特許事務 (株)ぬちまーす 沖縄県衣類縫製品工業組合 (株)マリンコムズ琉球	所長 社長 事務局長 取締役技師長	福島康文 高安正勝 伊良波勲 上間英樹
7月2日(木)	県立沖縄工業高等学校	福島特許事務所	所長	福島康文
7月3日(金)	那覇市立城北小学校	(株)マリンコムズ琉球	取締役技師長	上間英樹
7月3日(金)	沖縄市立安慶田中学校	オリオンビール(株)	製造部次長	島袋勝
7月6日(月)	北谷町立北谷第二小学校	(株)佐喜眞義肢	社長	佐喜眞保
9月11日(金)	那覇市立城北中学校	(株)トリム	会長	新城博
10月19日(月)	南城市立船越小学校	(株)ぬちまーす	社長	高安正勝
11月17日(火)	那覇市立石田中学校	(株)赤マルソウ	社長	座間味亮

【講師をお引きうけいただきました皆様には心から感謝いたします。ありがとうございました。】



受講した子供達の声(一部)

●人との比較よりも、自分のおかれている環境に感謝の心を持ち、何にでもチャレンジから始めようと思いました。●苦しいときにはプラスの考え方を持ち、辛抱の気持ちで夢を忘れず頑張ろうと思いました。●夢を大きく持つこと・今の学習を定着させること・食生活の大切さを学べました。●世界一を目指して大きな夢を持って教えてくれたので、世界一のデザイナーになろうと思いました。●夢をかなえることは素晴らしいことだと思うので、私は夢を叶えたいと強く思いました。●何を言われてもめげない心・あきらめないことの大切さを学びました。●特許についていろいろ知ることが出来ました。

※「学校と産業界の交流事業」では講師を会員の皆様から随時募集しています。経営者等の自薦又は適任者の推薦をお願いいたします。

事務局 TEL:098-859-6191 担当:川満

国際物流拠点産業集積地域及び 県外・海外展開支援メニューに関する説明会

平成27年12月18日(金) (公社)沖縄県工業連合会



(公財)沖縄県産業振興公社
産業振興部海外・ビジネス支援課
島袋香織主任アドバイザー



沖縄県商工労働部
企業立地推進課
長濱為一副参事



沖縄県商工労働部
下地明和部長



(公社)沖縄県工業連合会
桑江修専務理事



(公財)沖縄県産業振興公社
産業振興部海外・ビジネス支援課
山本千誉専門コーディネーター



(公財)沖縄県産業振興公社
産業振興部海外・ビジネス支援課
新里哲佳専門コーディネーター



(公財)沖縄県産業振興公社
産業振興部海外・ビジネス支援課
仲嶺亜希子専門コーディネーター

沖縄県では物流拠点産業を新たなリーディング産業として創出するためその集積に向けた積極的な施策展開を進めているところであり、平成26年4月の沖縄振興特別措置法改正以降、国際物流拠点産業集積地域（国際物流特区）を「那覇・浦添・豊見城・宜野湾・糸満地区（5市全域）」及び「うるま・沖縄地区（中城湾新港地区）」に大幅に拡大されています。今説明会では、沖縄県と沖縄県産業振興公社の担当者を招いて、国際物流拠点産業集積地域及び県外・海外展開支援メニューについての知識を深めることを目的に開催されており、販路開拓・拡大を目指す県内企業をはじめ多くの人々が参加しました。

説明会ではまず沖縄県商工労働部企業立地推進課 長濱為一副参事よ

り、国際物流拠点産業集積地域（国際物流特区）についてその概要と税制優遇措置対象事業等について詳しい説明がありました。

さらに、沖縄県産業振興公社産業振興部海外・ビジネス支援課による県外・海外展開支援メニューについての説明がなされました。県産品拡大展開総合支援事業（島袋香織主任アドバイザー）、県産工業製品海外販路開拓事業（山本千誉専門コーディネーター）、万国津梁産業人材育成事業（新里哲佳専門コーディネーター）、沖縄国際物流ハブ活用推進事業（仲嶺亜希子専門コーディネーター）の4つの事業に分けられ、それぞれの事業の背景及び目的、支援対象活動の内容や補助率、応募資格といった講義に参加者は真剣な表情で聞き入っていました。専門的な知識を得ることができ、沖縄県産品の海外販路拡大や技術革新において多いに役立つ説明会となりました。

故サムエル・C・オグレスビー氏 第49回追悼式

戦後の沖縄経済、とりわけ工業振興に力を尽くし、「沖縄産業の恩人」といわれたサムエル・C・オグレスビー氏を偲ぶための追悼式が今年も行われました。

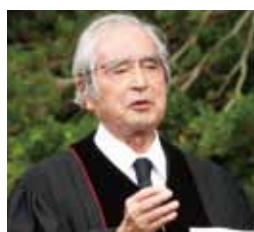
オグレスビー氏は1950年に米国民政府職員として沖縄へ赴任し、16年にわたる勤務期間中に砂糖、肥料、たばこ、セメント、ビール等の産業創立に携わることで、沖縄県の産業の基礎を作りました。1966(昭和41)年に55歳で逝去。沖縄を深く愛したことでも知られており、「死後は沖縄の地に埋葬してほしい」という遺言のとおり、那覇市泊の国際墓地で眠っています。

氏の命日が12月20日であることから、毎年同日に追悼式を執り行うこととなっていましたが、第49回となる今年は命日が週末にあたるため、2日早い12月18日(金)に開催されました。

追悼式には(公社)沖縄県工業連合会役員をはじめ、約30名が参列し、現在の沖縄産業の基盤を作り上げたオグレスビー氏の功績に対する感謝と尊敬の念を込め、顕彰墓碑の前で手を合わせ、賛美歌を斉唱しました。



沖縄産業の恩人
サムエル・C・オグレスビー
(1911～1966)



祈りを捧げる
那覇バプテスト教会
国吉守主任牧師



参列者全員の賛美歌斉唱と追悼の祈りをもって式が厳かに執り行われました。



(公社)沖縄県工業連合会呉屋守章会長
(写真左)をはじめ、多くの方々が参列されました。



オグレスビー顕彰墓碑

サムエル・C・オグレスビー氏は、1911(明治44)年10月25日、アメリカ合衆国バージニア州で生まれ、1933(昭和8)年、メリーランド大学博士課程を卒業します。

1942(昭和17)年米国陸軍に従軍し、1945(昭和20)年3月には、米陸軍政府将校として来沖し、その後エール大学で極東問題と日本語の研鑽を積みました。

同氏は、1950(昭和25)年3月、第二次世界大戦終焉の激戦地として灰燼と化した沖縄に米国民政府職員として赴任され、沖縄の良き理解者として沖縄の経済、特に工業の振興に献身的に尽力されました。沖縄勤務の16年間、琉球工業連合会(現沖縄県工業連合会)のよきアドバイザーとして深くかかわり多くの産業を育てました。

製糖、味噌醤油、食油、ビール、セメント、鉄筋、合板、菓子類に至る各製造業の90%は同氏の後援・指導を受けました。

1963(昭和38)年5月21日に琉球工業連合会は創立10周年を迎え、これを記念して、会員の芳志を募り、オグレスビー氏の胸像を制作することを決定しました。

やがて、胸像が完成し、翌年1964(昭和39)年12月2日、贈呈式と祝賀会が行われました。

その2年後、1966(昭和41)年12月20日、オグレスビー氏が逝去。

「沖縄に埋葬してほしい」との遺言により、泊国際墓地に埋葬されています。

1967(昭和42)年オグレスビー氏の長年の功績を記念して、「オグレスビー氏産業開発基金」が設立されました。同基金では毎年、沖縄の工業発展に著しく功績のあった方に「オグレスビー氏工業功労者賞」の授与と工業高校・沖縄高専の学生に奨学金を支給しています。



沖縄工業高等学校
工業化学科3年 新垣 賢悟さん



平成27年12月7日(月)

(公社)沖縄県工業連合会



那覇工業高等学校
服飾デザイン科1年 下地 美玲さん



(公社)沖縄県工業連合会
桑江 修 専務理事



(公財)沖縄県国際交流・人材育成財団
山田 保 理事長

第二次世界大戦終焉の激戦地として灰燼と化した沖縄に米国民政府職員として赴任され、沖縄の経済振興に献身的に尽くすことでの今日の沖縄産業の礎を築いた故サムエル・C・オグレスビー氏。その功績を記念して、オグレスビー氏産業開発基金が昭和42年に設立され、未来の沖縄産業を担う学生に対し学資の一部を奨学金として支給しています。

県内工業高校に在学中の生徒の中から、学業優秀で学資援助を必要とする学生を選出しており、今年度は那覇工業高校の下地美玲さん、沖縄工業高校の新垣堅悟さんの2名が選ばれました。

下地さんはファッショニスト関連した職に就くことを目標に、専門的な知識を得るために日々勉学に励んでおり、資格取得にも積極的に取り組んでいます。新垣さんは大手企業への就職を目指す。桑江さんは大学進学を希望しており、家族に負担をかけず進学したいとし、「奨学生への応募を機にオグレスビー氏についてインターネットで調べ、沖縄産業の父といわれる功績を知った。その名を冠した奨学金にふさわしい人間となれるよう努力したい」と抱負を述べました。

交付式に出席した沖縄県工業連合会桑江専務理事は、「沖縄を愛し、その発展に尽力したオグレスビー氏の信念が奨学金を通じて次代へと受け継がれていくことを望む」とし、奨学金目録を受け取ったふたりの生徒とともに、学校での授業内容や将来の目標について尋ね、若者たちの希望にあふれた話に耳を傾けました。生徒たちも締まつたようでした。ふたりのこれから飛躍に期待が高まります。



奨学金交付式では、学生のお二人から将来への抱負も語られ、終始和やかな雰囲気のなかで執り行われました。



沖縄工業高等学校
山城邦定 校長



那覇工業高等学校
波名城功 校長

第6回「ものづくり日本大賞」 沖縄県から特別賞および優秀賞受賞者が決定！



経済産業大臣より表彰を受ける
株式会社マリンコムズ琉球 代表取締役社長 新川直正氏



沖縄総合事務局局長室にて表彰を受ける
株式会社石垣の塩 代表取締役社長 東郷清龍氏(写真右)



第6回「ものづくり日本大賞」 経済産業大臣賞表彰式



株式会社マリンコムズ琉球 「LED通信技術を用いた水中通信機器の開発」
開発に携わった同社の玉城佳奈さん(写真左)



株式会社石垣の塩 「海水の多様な商品化と製造における熱有効利用方法の開発」

「ものづくり日本大賞」は製造・生産現場の中核を担つて、いる中堅人材や伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、「ものづくり」に携わっている各世代の人材のうち、特に優秀だと認められる人材を顕彰するものです。本賞は、経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省が連携し、平成17年より隔年開催しており、今回で6回目を迎え、沖縄県からも経済産業省関連において、特別賞1件（株式会社マリンコムズ琉球）、優秀賞1件（株式会社石垣の塩）の受賞がそれぞれ決定しました。

株式会社マリンコムズ琉球の「「LED通信技術を用いた水中通信機器の開発」は可視光を用いて無線で水中会話が可能となるものであり、音波や超音波等を利用した従来の機器と比較して潮流や気泡等の影響を受けず、また複数人による同時会話をできる画期的な機器となっています。マリンレジャーのみならず、緊急時の救助活動や海洋土木工事における水中作業の円滑化等様々な分野で活用が期待されています。

「海水の多様な商品化と製造における熱有効利用方法の開発」が受賞の名

「ものづくり日本大賞」は製造・生産現場の中核を担つて、いる中堅人材や伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、「ものづくり」に携わっている各世代の人材のうち、特に優秀だと認められる人材を顕彰するものです。本賞は、経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省が連携し、平成17年より隔年開催しており、今回で6回目を迎え、沖縄県からも経済産業省関連において、特別賞1件（株式会社マリンコムズ琉球）、優秀賞1件（株式会社石垣の塩）の受賞がそれぞれ決定しました。

株式会社マリンコムズ琉球の「「LED通信技術を用いた水中通信機器の開発」は可視光を用いて無線で水中会話が可能となるものであり、音波や超音波等を利用した従来の機器と比較して潮流や気泡等の影響を受けず、また複数人による同時会話をできる画期的な機器となっています。マリンレジャーのみならず、緊急時の救助活動や海洋土木工事における水中作業の円滑化等様々な分野で活用が期待されています。

「ものづくり日本大賞」は製造・生産現場の中核を担つて、いる中堅人材や伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、「ものづくり」に携わっている各世代の人材のうち、特に優秀だと認められる人材を顕彰するものです。本賞は、経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省が連携し、平成17年より隔年開催しており、今回で6回目を迎え、沖縄県からも経済産業省関連において、特別賞1件（株式会社マリンコムズ琉球）、優秀賞1件（株式会社石垣の塩）の受賞がそれぞれ決定しました。

株式会社マリンコムズ琉球が参加し、12月4日(金)には、沖縄総合事務局局長室にて、株式会社石垣の塩が表彰を受けました。



第32回 未来の科学の夢絵画展 表彰式



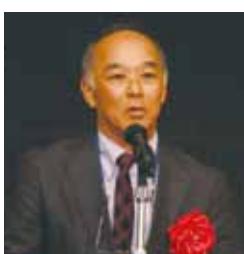
【主催者あいさつ】
(一社)沖縄県発明協会 新垣昌光会長



新垣会長より、「沖縄県発明協会会長賞」の表彰をはじめ、佳作、入選作品の表彰が執り行われました。



【あいさつ】
(一社)沖縄県発明協会
大城清利常任理事



【審査報告】
審査員長(画家・沖展会員)
大城譲氏

沖縄県教育委員会 教育長賞

「母さんお助け洗たくき」
那覇市立曙小学校3年 平良修都さん

「エコロジーフラワー」
那覇市泊小学校4年 中村拓磨さん

那覇市長賞

「未来の書籍」
那覇市立与儀小学校小学校5年 津波古麻衣さん

「ハンドリーム」
石垣市立石垣中学校3年 當間理桜さん

●佳作36点
●入選33点 合計78点

子供たちが抱く未来への夢・自由な発想を絵によって表現することで科学への関心を深め、想像力の発達を促すことを目的として毎年開催されている「未来の科学の夢絵画展」。北は北海道から南は沖縄まで全国各地で県内小学校から中学校の生徒たちを対象に作品が募集され多くの優秀作品が集まりました。

沖縄県立博物館・美術館講堂で行われた授賞式には、とくに優秀な成績を収めた生徒たちが招かれ、賞状と記念品を受け取りました。

審査委員長を務めた画家の大城譲氏は「どの作品も甲乙つけがたく審査

は非常に難しかった」とし、子供たちの豊かな発想力を高く評価しました。「今年はとくにすぐれた構図の作品が多くあった」と評しており、例年以上のレベルの高さをうかがわせました。

主催者を代表して、一般社団法人沖縄県発明協会の新垣昌光会長も挨拶し、平成27年度のノーベル生理学・医学賞に大村智・北里大学特別栄誉教授が、物理学賞に梶田隆章・東京大学授が、物理学賞に梶田隆章・東京大学宇宙線研究所所長が選ばれましたことにつれて、「偉大な先輩方に続き、日本を代表するような発明家に育つてほしい」と子供たちの未来へ大きな期待を寄せていました。

第32回未来の科学の夢絵画展(県内)

展)受賞者は78名となり、沖縄県教育委員会教育長賞に那覇市立曙小学校3年の平良修都さん、那覇市立泊小学校4年の中村拓磨さん、那覇市長賞に那覇市立与儀小学校5年津波古麻衣さん、石垣市立石垣中学校3年當間理桜さん、沖縄県発明協会会長賞に糸満市立糸満南小学校4年上原一路さん他4名が選出されました。

作品は沖縄県立博物館・美術館ギャラリーに展示され、多くの人々の目を楽しませていました。

沖縄県発明協会 会長賞

「家作リロボット」
那覇市立曙小学校1年 宜野座晟慈さん

「漂着ゴミを貝殻に変換ヤドカリ型ビーチクリーナー」
糸満市立糸満南小学校4年 上原一路さん

「介護予防!! 楽楽元気・スプリングシューズ」
那覇市立若狭小学校4年 黒島日向さん

「観光客おもてなしロボット」
那覇市立曙小学校4年 鶴田光優さん

「環境にやさしいレスキューカー」
南風原町立北丘小学校5年 宜保元行さん

琉球大学工学部後援会からのお知らせ

工学部後援会主催 キャリア形成支援セミナー開催報告

工学部後援会事務局 浦崎直光・齋藤将人



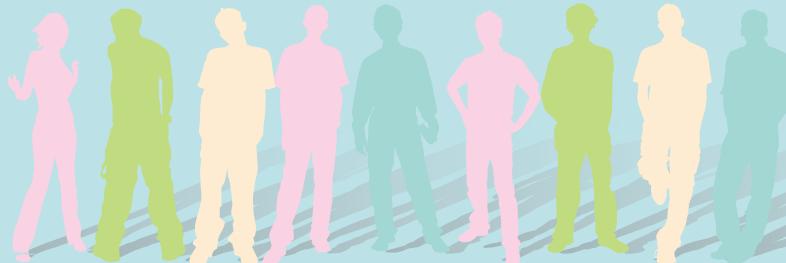
琉球大学工学部後援会は、12月16日（水）（13時～17時）に、工学部後援会会員企業によるキャリア形成支援セミナーを開催しました。昨年に引き続き、文部科学省の申し合わせに従い、採用活動を伴わない学内セミナーの形式を取りました。会場は、地域創生総合研究棟の5階にある教室を利用しました。

各社、講演時間20分+質疑応答10分の30分を持ち時間として、業種により3つに区分して並列にセミナーを開催しました。会員企業の皆さまを講師に迎え、(1)学生から社会人へ変る心得（一般的な社会人としての心得）、(2)業界の職種や業務内容（特に職業としての魅力について）、(3)経済界全体における業界の位置付けや関連業界との関係、(4)学問と実務の関係（大学での勉強がどのように役に立つか）、(5)これから最終学年を迎える学生への要望や激励、の5項目を中心にご講演頂きました。

本セミナーには、18社（製造業4社、建設業2社、IT関連10社、その他2社）の会員企業に参加頂きました。学生の参加人数は46名（のべ103名）でした。参加学生へのインタビューでは、「このセミナーでの経験は必ず役に立つと思う」「社会でどのような人材が求められているのか指標を知ることができた」「普段知ることのできない、業界の話や仕事の話、学生である今をどのように過ごすといいなど、企業の視点から聞くことができ、大変良かった」などの感想があり、参加した学生は有意義な時間を過ごすことができたようです。参加会員企業からは、「参加者数を増やして欲しい」「講演時間を10分延ばして欲しい」などのご意見を頂きました。次回以降のセミナー、就職説明会がよりよいものとなるようご意見を反映させていきたいと思います。今後とも皆様のさらなるご指導とご支援をお願い申し上げます。



セミナーの様子



琉球大学工学部後援会事務局（電気電子工学科内／浦崎直光・齋藤将人）

TEL:098-895-8710・8698 FAX:098-895-8698



海洋ロボットコンペティションin沖縄 —沖縄海洋ロボットコンテスト— Underwater Robotics Competition in Okinawa



昨年、11月21(土)～22日(日)に那覇市で第1回沖縄海洋ロボットコンテスト(主催:琉球大学産学官連携推進機構)が開催されました。競技は、遠隔操作型ロボットで複数の目標物を撮影するROV部門、自律型ロボットで40m先の目標を目指すAUV部門、生物運動型ロボットなど独創性を競うフリー部門が設けられ、各競技に九州・沖縄を中心に全国の大学や高等専門学校から14チームが出場しました。海は、波の高さや風の強さなど不安定な条件が多くコントロールが難しいことから、各チーム苦戦していましたが、当校はROV部門、AUV部門で最優秀賞を受賞することができました。

競技内容	成績	当校チーム名	出場校(五十音順)
ROV 部門	最優秀賞	ちゃんぶる～号	岩手大学、大里中学校、沖縄高専、沖縄職業能力開発大学校、九州工業大学大学院、九州職業能力開発大学校、北九州高専、長崎大学、日本文理大学、琉球大学
AUV 部門	最優秀賞	やなわらば～号	沖縄職業能力開発大学校、九州工業大学、九州職業能力開発大学校、西日本工業大学、日本文理大学



【競技会場】



【やなわらば～号チーム】

「沖縄ポリテックビジョン2016」開催

- 日時：2/19(金)、20(土) 10:00～
- 場所：沖縄職業能力開発大学校
- 講演：ホンダにおけるジェットエンジン開発への挑戦

※地域企業の皆さんと一緒に“ものづくり”的悩み解決を行いたいと考えています。技術的相談等お気軽にお寄せください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄職業能力開発大学校(学務課まで)

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL. 098-934-6282 FAX. 098-934-6287

<http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/>

沖縄高専だより Okinawa National College of Technology

県民公開講座「現代に生きる古の心」案内

大学コンソーシアム沖縄 沖縄工業高等専門学校 県民公開講座

現代に生きる いにしえ 古の心

1 古代のうた…人はなぜ歌うのか

網谷 厚子 (沖縄工業高等専門学校 総合科学科 教授)

2 王国時代、琉球臨済宗寺院の文化遺産

~墓碑と三牌をとおしてみる日琉文化交流~

下郡 剛 (沖縄工業高等専門学校 総合科学科 准教授)

先着130名／入場無料／事前申込不要

2016年1月22日(金) 18:00～20:00 (開場 17:30)

場所：名護市労働福祉センター（名護市大南2丁目1番25号）

お問い合わせ先

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古 905 番地 沖縄工業高等専門学校 企務課 研究連携推進室

TEL: 0980-55-4070 / E-mail: skrenkei@okinawa-ct.ac.jp

沖縄工業高等専門学校産学連携協力会事務局(担当:喜屋武)
 〒905-2192 名護市字辺野古905番地 TEL:0980-50-0133・FAX:0980-55-4012
 E-mail:sangaku@m1.cosmos.ne.jp ホームページ: <http://www.cosmos.ne.jp/~sangaku/>





工業技術センターだより
Okinawa industrial technology center



謹賀新年

明けましておめでとうございます。

工業技術センターでは、本年も企業の皆様への技術的な支援に努めていきたいと考えておりますので、ご活用頂けますようお願いします。

工業技術センターの業務として希望する内容がございましたら、4月以降に要望試験研究課題として提案をして頂くことが出来ます。研究開発課題や業界での共通課題等、ご提案頂けますようよろしくお願いします。

なお、要望試験研究課題の募集はホームページやメルマガ等により広報を行う予定しております。

試験研究・検査設備機器の紹介

平成26年度の公益財団法人JKAの自転車等機械工業振興事業における補助事業を活用して新たに機器を設置しました。

装置の使用法等についてご支援しますので、是非ご活用ください。

耐食性*を評価する試験機

金属・表面処理の耐食性を評価する腐食促進試験をすることができます。

塩乾湿複合サイクル試験機



- 腐食環境の厳しい沖縄県では、材料や表面処理の耐食性評価は重要であり、メーカーには製品の長寿命化に向けた取り組みや新しい表面処理の開発が求められます。
- 塩水噴霧試験は金属・表面処理の耐食性を評価する最も基本的な試験であり、様々な試験規格(JIS、JASO、ISO規格)に対応した試験を行うことができます。
- 工業技術センターでは、金属材料やめっき、塗装等表面処理の耐食性評価試験を行い、製品開発や技術指導に活用していく予定です。

*耐食性とは金属などが腐食しにくい(錆びにくい)ことです。

工業技術センターは、県内製造業への技術的支援を通して産業の活性化に貢献することを使命として事業に取り組んでいます。「製品の開発に関して技術的なアドバイスがほしい」、「製品の品質を上げたい」、「研究開発の支援がほしい」などの技術課題解決や新製品・新技術開発の支援が必要な場合にはお気軽にご相談下さい。

沖縄県工業技術センター（技術支援班／企画管理班）

〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎12番2 TEL:098-929-0111・FAX:098-929-0115
E-mail:kousi@pref.okinawa.lg.jp(メルマガを始めています。)

●ホームページ：<http://www.pref.okinawa.jp/site/shoko/kogyo/index.html>

OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS TOPICS

沖工連青年部会 会員募集中！

青年部会は親睦会や勉強会等の活動を通して、工業界の青年層が気軽に情報交換できる会を目指しています。

- 加入資格／公益社団法人沖縄県工業連合会会員の役員及び従業員で45歳迄
- 会 費／入会金10,000円、年会費20,000円
- 会 員 数／22名(2015年7月現在)



お問合せ先：公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 (担当:小浜)

公益社団法人沖縄県工業連合会 会員募集のご案内

公益社団法人沖縄県工業連合会は、昭和28年5月に「沖縄県における工業の育成及び振興を図り、もって県経済の発展に寄与すること」を目的に創立されました。現在では、製造業を中心に約400社の会員を有し、毎年7月の「県産品奨励月間」や「沖縄の産業まつり」などをとおして、県内製造業並びに関連産業の振興発展に寄与するため鋭意努力しております。本会の主旨に賛同していただける方なら規模の大小は問いませんので、ご入会をお待ちしております。お気軽に事務局までお問合せください。

会員への主なサービスならびに特典

- 機関誌「工連ニュース」や電子メール等による各種情報サービスの提供
- 経営者や従業員を対象とした講習会、技術・経営セミナーなどの案内
- 公設試験研究機関との連携による技術力向上に関する事業などへの参加
- 県産品奨励月間事業(7月)における国・県・市町村、食品・建材大口需要者などに対する要請活動への参加
- 「県産品マーク」の取得
- 本会のインターネットホームページによる会員企業の紹介
- 「沖縄の産業まつり」の出展料の優遇
- 従業員表彰制度の活用(優良従業員・創意工夫功労者・優秀技能者)
- (一社)沖縄県発明協会との連携による産業財産権に関する情報提供など



会員の皆様へ「工連ニュース」で自社の商品をアピールしてみませんか？

会員の皆様には平素より本会機関誌「工連ニュース」の事業活動についてご理解・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「工連ニュース」では会員サービスの一環として会員の新商品などを紹介するコーナーを設けています。事業のPR、新商品の紹介などに積極的にご利用下さい。

●お問合せ先

公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 担当：座間味



沖縄県産品
マーク表示制度
について

自社製品のピーアールに 「県産品マーク」を 使用してみませんか？

公益社団法人 沖縄県工業連合会



県産品マークとは…

県内で製造・加工された県産品に、「沖縄県産品マーク」を表示することによって、消費者等が県産品と県外産との識別を容易にしていただくとともに、消費者と安心・安全な県産品をつなぐ有効な手段として、公益社団法人沖縄県工業連合会が昭和61年に「沖縄県産品マーク表示制度」を定めたものです。現在では、食品、生活用品、建設資材、工芸品など多くの県産品に利用されています。

1 | 沖縄県産品マーク表示申請資格

- (1) 県内で事業を営む業者であって本会の会員であること。
- (2) 県内で製造された製品で本会が認めたもの。
- (3) 製造、又は販売について法令の定めるところにより許可を必要とする場合は当該許可等を受けたものであること。

2 | 沖縄県産品マーク表示対象品

県内で生産・製造、又は主たる加工がなされた加工品、家庭雑貨、工芸品、建材等、沖縄県産品マークの表示を必要とする全ての県産品。

3 | 申請方法

所定の表示申請書を作成し本会へ申請する。

4 | 申請料金

1製品につき30,000円



県産品マーク
表示商品
の一例

県内唯一!

サッシ形材製造



沖縄の気候風土に合った製品を提供！

Aerial view of the Hotel Orion Motobu Resort & Spa, showing its modern architecture and surrounding greenery. A speech bubble from a rooster character says: "サッシ。雨戸の事なら" (For sash and windows). Another rooster character says: "金秀アルミに" (To Kanehide Alumi). A third rooster character says: "お・ま・か・せ♪" (O-makase♪). A fourth rooster character is shown at the bottom. A blue box contains the text: "モトブオリオンリゾート&スパ、那覇新都心リューキュスタワー、リーガロイヤルグラン沖縄の施設等で我が社の製品が採用されています!" (Our products are used in facilities such as Motobu Orion Resort & Spa, Naha Shinkenchiku Ryukyu Tower, and Le Royal Grand Okinawa). Below this text, smaller text reads: "那覇新都心に完成した地上30階建ての「リューキュスタワーマンション」で採用されました主力製品「ハイバーサッシ」は、当社風洞試験において「96m/秒」相当の風圧に耐えられる事が実証されています。" (The main product, 'High Performance Sash', was adopted in the 30-story 'Ryukyu Tower Mansion' completed in Naha Shinkenchiku. It has been proven through our company's wind tunnel tests that it can withstand a wind pressure equivalent to 96m/sec).



金秀アルミ工業株式会社
<http://kanehide-alumi.com/>

管理本部 098-835-8100
営業本部 098-835-8101・8102
生産本部 098-835-8104・8105